

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	WAKU-WAKU pixie			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和8年1月4日		～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントツールを使用して個々の発達状況を把握に努めている。その結果を保護者に説明して療育内容を決定している。	本人・保護者の主訴をしっかりと聞き、ニーズを考えて療育支援を行っている。	保育士・児童指導員等のスタッフが、発達に関する知識や技術が向上できるような研修の実施。職員員の質の向上と中間層の育成と未経験の職員にも落とし込みをして、事業所としての質の向上が図れるように取り組む。
2	支援内容が偏らないように、定期的にプログラムを更新して療育支援を行っている。	領域ごとのプログラムを考えて実施している。同じプログラムでも、子どものニーズに合わせた目標設定を行っている。	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園等や地域との交流機会の確保が難しい。	保育所や認定こども園等に関しては、事業所の支援時間や交流する場所の確保が難しい。地域に関しては、どのような事業を行っているのか認知されていないことも影響している。	事業所の活動や取り組みを周知することで、各所との交流や連携が図れることができるように、少しずつ関係を構築していく。
2	保護者同士の交流や情報交換ができる環境の提供が難しい。	保護者の方からも、そのような場があれば参加したいという意見が、サービスを提供している時間帯に実施することは難しい。	行事等を通じて交流できる機会を設けられるように計画を立てる。
3	職員に対する研修内容を経験年数に応じた内容を実施すること。	研修の内容が基本的なものが多く、資格や経験年数に応じた内容に偏りがある。	職員員の質の向上と中間層の育成と未経験の職員にも落とし込みをして、事業所としての質の向上が図れるように取り組む。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	WAKU-WAKU pixie
------	-----------------

公表日 令和8年3月25日

利用児童数 19 回収数 16

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		4	・最大で何名での活動なのか不明	1日の定員は10名となっており、最大で10名での活動になります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	3		6		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		5	・バリアフリー化されているかわからない	一軒家を活用しているため、完全なバリアフリーではありません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	12			4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2		2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15			1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	2		2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		4		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	6	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	4	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	2		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	5	5	・保護者同士の関わりがあると良いと思う。兄弟も参加できるイベントもあり参加して喜んでいました。	保護者の方が交流できる機会を増やしていけるように検討していきます。夏祭り等のイベントはご利用されていない方も参加ができるように企画しています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		3		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			・その日の療育内容を説明してもらい、成長と一緒に感じられている	支援内容や気づきを共有できるように努めています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2		7	・様子が見られるので助かっている。	今後も定期的に発信できるように工夫していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			4	・定期的に災害に備えて訓練をしてくれて安心している。	法令に基づき、定期的な訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	2		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	4	2		・「今日はワクワクだね」と楽しみに通っている。	支援内容を工夫しながら、楽しく療育ができるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・定期的なアセスメントに満足している ・親の相談や困りごとにも、いつも聞いてもらい感謝している	定期的な評価を行い、支援内容の見直しを行っています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		WAKU-WAKU pixie			公表日		令和8年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		設置基準に基づいたスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		人員基準に基づいた配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		建物の構造上、死角が多く、段差もあるが、マット等を敷いて段差を無くす工夫をしている。個別のスケジュールの提示と構造化に努めている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		衛生管理に努めて、清潔な環境を保てるように対応している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		本人の特性の理解に努め、必要に応じて適宜使用できるように対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		定期的に会議を行い、改善に努めている。	改善に時間が必要なこともあり、建設的な会議を行う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表を共有して、必要に応じて改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的に会議を行い、改善に努めている。	意見を共有する機会が足りないこともあり、会議の進行や内容を改善する必要もある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	現在、第三者機関による外部評価は実施していない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		社内研修を中心に開催している。	経験年数や職務に応じた外部研修の機会が提供できるように工夫する。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		法令に基づき、ホームページで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		保護者の意向や本人のニーズの把握をして作成に努めている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		直接支援者と共同でモニタリングを行い、支援計画を作成している。	モニタリングの方法や直接支援者からの情報収集の方法を工夫する必要がある。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画を共有している。	個別支援計画の意図や保護者の意向も踏まえて共有する工夫や必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメントツールを用意している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		領域に合わせた状態把握に努めて支援内容を検討している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		定期的な会議を行い立案している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		2か月に1度、集団療育のプログラムを更新している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		本人の状況、保護者の意向を踏まえて、作成に努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		ミーティングを行い、支援内容の確認、留意事項の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		ミーティングを行い、支援の振り返りと次回に向けた改善等を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		療育の場面で気づいたことをメモに残し、個人の記録に反映させている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		6か月に1度と必要に応じて適宜見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		児童発達支援管理責任者と直接支援職員で出席するように対応している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	3	併行利用しているケースは連携を図っている。	保育・教育機関とも連携が図れるように関係構築が必要。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		必要に応じて、保育所や認定こども園等と情報共有する場を設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者を介して、支援内容等を記した情報シートを渡している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		児童発達支援センター等から助言等を受けるケースがない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	現在、保育所や認定こども園等と交流する機会はない。	今後も地域との交流が図れるように建設的に関係が構築できるように努める。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		支援の振り返りや連絡帳、定期的な面談で共通の理解ができるように対応している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	家族支援プログラムは実施していないが、個々のニーズに助言等できるように対応している。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に懇切丁寧に説明するように心がけている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		見学や契約時に意向を確認して作成している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		説明の際にも再度意向を確認しながら同意を得るように心がけている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		定期的な面談と家族等の心身の状況を鑑みて面談を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	夏祭りやクリスマス会など、保護者や利用者のきょうだいも参加できるイベントを開催している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		必要なことを即時共有して対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		SNSに活動の様子を投稿している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の使用方法について説明を行い、同意を得ている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		個人の状況に合わせた配慮に努めている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		現在、事業所の行事に地域住民を招待する機会はない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルと指針を策定している。法令に定められた訓練を実施している。	マニュアル等を保護者に周知する方法に工夫が必要。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		計画を策定して、定期的な訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		アセスメントの際に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		現在、医師の指示書に基づいた対応ケースはない。	意思の指示書の有無に関わらず、対応について保護者から確認を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		計画を作成して、研修・訓練等、必要な措置を実施している。	研修の内容を落とし込めるよう努める。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		緊急時の対応や連絡手段を説明している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		報告書を作成して、対応防止策を共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		法令に基づいた研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		身体拘束の適正化についての指針を策定している。		